

熱田区千年学区

震災避難行動マップ

災害なんかに負けない地域をつくろう！

この避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、千年学区にお住いの皆さまが、お住いの地域の危険箇所や避難経路などについて確認し、作成したものです。この避難行動マップをもとに「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日ごろから考えておきましょう。

役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど

このステッカーが貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援します。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

4. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

5. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



地域防災協力事業所一覧

名称

(株)服部組 本社ビル
一時避難場所として敷地の提供、防災倉庫の提供

(合)田口ヂーゼル 自動車修理工場
救助資器材の提供(フォークリフト・クレーン車・溶接機一式)

三浦合板(株)
救助資器材の提供(フォークリフト1台)

浅井興産(株)
一時避難場所としての敷地の提供、救助資器材としてフォークリフトの貸出

愛知時計電機株 本社ビル
一時避難場所として体育館の提供、備蓄品の提供

イオンタウン熱田千年
一時的な避難場所として駐車場の提供、食料、生活物資等の提供

大洋石油(株) 千年サービスステーション
救助資器材(ジャッキ・牽引ロープ・ライト等)の提供

東海通駅
中川小学校
地下鉄名港線
津金丁目



町内会の一時集合場所

海拔表示について

名古屋市では、津波の影響が心配される地域に海拔表示を実施しています。普段からお住まいの地域の海拔を意識し、いざという時に迅速に避難できるよう備えておきましょう。



こまどり児童遊園地
南一番町北部町内会集合場所



津波から逃れるには、
浸水想定区域外である
堀川東側へ避難する
→間に合わない場合は
津波避難ビルへ避難



津波から逃れるには、
浸水想定区域外である
堀川東側へ避難する
→間に合わない場合は
津波避難ビルへ避難

指定避難所一覧

| 名 称 | 収容人数 |
|---------------|------|
| 千年小学校 | 372 |
| 愛知県立熱田高等学校 | 727 |
| 千年コミュニティセンター | 68 |
| 愛知機械工業(株) 体育館 | 662 |
| (株)服部組 本社ビル | 92 |

*感染症対策を講じた場合、収容人数は減少する可能性があります。

津波避難ビル一覧

| 名 称 |
|----------------|
| 千年小学校 |
| 愛知県立熱田高等学校 |
| 千年コミュニティセンター |
| (株)服部組 本社ビル |
| ソレイユかどや |
| イオンタウン熱田千年 |
| 愛知時計電機(株) 本社ビル |

七里の渡し着場跡 宮の渡し公園

堤防が破堤した場合、津波が到達する前に堀川の水が流入するおそれあり

地域の避難先の表示



指定緊急避難場所…命を守るために、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる)。
指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための場所

熱田区千年学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い震度6強の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、津波の名古屋港への到達時間は96分と予測され、千年学区では2時間程度から浸水が始まります。この時間を最大限に使い、熱田台地か津波避難ビルへ避難しましょう。

また、液状化現象が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応

揺れた

身の安全の確保

- 頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 安全に消せる場合は火を消す
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



提供:効果的な防災訓練と防災啓発講演会

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう



揺れがおさまった

堤防が破堤した場合、堀川の水が流入するおそれがあるため注意！

大津波警報
発表

- 火が出たら初期消火
- ブレーカーを落とす
- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入口の確保
- ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備
- 避難する際の戸締り
- ご近所の安否確認

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。
地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。



堀川より東側の熱田神宮のある熱田台地（津波浸水想定区域外）
に徒歩で避難。間に合わない場合は津波避難ビルに避難。

大津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

在宅避難
 避難先へ

津波浸水想定区域外へ避難



津波避難ビル表示マーク



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声掛け」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えはこんな方
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者の世帯など。



移動が難しい方

例えはこんな方
普段、杖・押し車・車椅子などを正在する人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。



自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を！

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、感染症のリスクが高まるなど大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。その際は、右記のことを心がけましょう



備蓄品・非常持出品 チェックリスト

災害や避難に備えて、ふだんから準備・点検しておきましょう。

備蓄品の例 災害に備えて用意しておきたいもの

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品（自分が食べやすいもの）
- 常備薬（持病の薬を含む）
- 飲料水（ペットボトル）

1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品（ゼリーなど）と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分程度用意しましょう

内3日分程度は非常持出品へ

非常持出品の例 避難する時に持っていくもの

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

照明等

- 懐中電灯（電池含む）
- マッチ・ライター

食器類

- はし・スプーン
- 皿・紙コップ

医療用品

- 三角さん
- 包帯・ガーゼ
- はんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ（ティッシュ）
- おねしょ帳

便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器

その他（個人的に必要なもの）

- 粉ミルク
- 紙おむつ
- 生理用品
- 予備のメガネ・補聴器など



※ローリングストック法
家庭で消費している日持ちする食品を余分にストックしておく、使った分を買い足すことで、普段の生活の中で負担なく備蓄することができます。

